

<報道発表資料>

カテゴリー:お知らせ

令和8年7月28日

シーズン到来！埼玉の梨・ぶどう

近年、埼玉県が生んだブランドいちご「あまりん」をはじめ、埼玉県のフルーツに注目が集まっており、巷では新たな「フルーツ王国」と評する声も聞かれます。

いよいよ、埼玉の梨・ぶどうのシーズンが到来！埼玉県自慢の旬の味覚を、是非御賞味ください。

1 埼玉県の梨について

(1) 埼玉県の梨生産

梨は、埼玉県の果実産出額のうち、約半分（52億円のうち28億円）を占める主力品目です。県内では、おおむね7月下旬から8月中旬にかけて「幸水」の出荷が始まり、続いて本県が開発したブランド梨「彩玉」（8月中旬から9月初旬）、「豊水」（8月下旬から9月中旬）、「あきづき」（9月上旬から下旬）、「新高」（9月下旬から10月中旬）などの出荷が続きます。

旬の時期になると、産地の直売所では大行列ができるほどの賑わいとなります。



▲埼玉ブランドの梨「彩玉」



▲賑わう直売所

(2) 確かな技術が支える！埼玉県の梨

ア 「全国梨選手権」で3年連続の最多受賞

美味しい梨No. 1を決める「全国梨選手権」（一般社団法人日本野菜ソム

リエ協会主催）において、令和5年～令和7年開催までの3年連続で、埼玉県の生産者が最高金賞ほか数多くの賞を獲得し、3年連続で最多受賞を記録。埼玉県の梨生産に係る技術力の高さが表れています。

イ 「幸水」の才能を開花させた埼玉県

育種家・品種ナビゲーターとして、野菜・果物の品種改良の歴史や、食文化を切り口に、その知られざる魅力を発信されている竹下 大学氏によると、「埼玉県が、「幸水」の才能を開花させた」とされています。

現在、梨の王道品種として全国各地で栽培され、トップシェアを誇っている品種「幸水」。実は、国の研究機関で開発された当初、病気に弱く、収量性が劣るなどの理由で全く普及しませんでした。

しかし、埼玉県の農業試験場及び生産者が試行錯誤を重ね、栽培技術を確立したことで、全国に広まり、誰もが知る品種となったとされています。

2 埼玉県のぶどうについて

（1）埼玉県のぶどう生産

ぶどうは、埼玉県の果実産出額のうち、第2位の割合（52億円のうち11億円）を占める埼玉名産のフルーツです。

県内では直売が主体となっており、おなじみの「巨峰」や「シャインマスカット」のほか、秩父地域限定で栽培されている「ちちぶ 山ルビー」などの希少品種まで、新鮮なぶどうを楽しむことができます。

（2）初開催！「埼玉の朝採れぶどう祭り」

まだあまり知られていない「埼玉ぶどうの魅力」を身近に体験していただくため、2日間限定の特別企画として、大宮駅東口すぐの「まるまるひがしにほん」において、「埼玉の朝採れぶどう祭り」を開催します。県内生産者の協力の下、新鮮・朝採れ*のぶどうを数量限定で販売します。

* 収穫状況等により変更となる場合があります。

ア 場所 まるまるひがしにほん 東日本連携センター

埼玉県さいたま市大宮区大門町1-6-1（大宮駅東口より徒歩1分）

<https://marumaru-higashinihon.jp/>



イ 開催日程 令和8年8月29日（土曜日）、30日（日曜日）

※ 11時開館～19時まで（30日は18時まで）

<朝採れぶどうは、入荷次第の販売開始となります>

3 梨・ぶどうの販売情報について

（1）直売所などの販売情報

梨・ぶどうを取り扱う県内の農園や直売所等の情報を掲載しています。

<埼玉農産物ポータルサイト「SAITAMA わっしょい！」>

<https://www.pref.saitama.lg.jp/saitama-wassyoi/>

（2）観光農園の情報

梨狩り・ぶどう狩りを体験できる県内の観光農園の情報を掲載しています。

<グリーン・ツーリズム埼玉（グリツリ埼玉）>

<https://www.pref.saitama.lg.jp/greentourism/enjoy/taiken/index.html>

●問合せ先

梨・ぶどうの販売情報について

農林部 農業ビジネス支援課 販売対策・6次産業化担当 荻野・福田

電話 048-830-4111

梨・ぶどうの生産について

農林部 生産振興課 花き・果樹・特産・水産担当 秋場・戸田

電話 048-830-4146